

目的

「おいしく、楽しく食べて、健康に」

食・楽・健康協会は、以下の4つのことを目的に2013年11月14日に設立されました。

- ①（食前のみならず食後の）高血糖に対する社会的注意の喚起
- ②血糖値測定の普及とその意義の啓蒙
- ③科学的根拠に基づく最新の栄養学についての啓蒙
- ④（理想論でなく現実論の生活に基づく）生活を楽しみながら健康になる社会の実現

上記の目的を達成するために、私たちは以下のような活動をしています。

- ①料理人の方、食に関わる企業の方を対象にしたセミナー
- ②上記の方たちの料理、商品の開発のサポート
- ③上記の方たちや医療従事者、一般の方に対する食前のみならず食後高血糖の注意喚起
- ④血糖測定の実体験イベント

沿革

- 2013年 社団法人 食・楽・健康協会設立 11月14日
設立記念パーティー（ウェスティンホテル東京）11月19日
メディア発表会（ウェスティンホテル東京）11月21日
企業向けセミナーを月4回程度のペースで14回開催
会食会を2回開催（六本木ボタニカ）
- 2014年 第57回日本糖尿病学会に出展
「菓子職人を対象にしたセミナー」2月
「日本お好み焼き協会様と共催の低糖質お好み焼きイベント」5月
Duke 大学 William Yancy Jr. 教授を招聘して講演会 5月22日～24日
企業向けセミナーを月2回開催
出版説明会を開催

概要

名称

一般社団法人 食・楽・健康協会

設立

2013年11月14日（世界糖尿病デー）

役員

理事長 山田 悟（北里研究所病院 糖尿病センター長）

副理事長 山田 サラ（健康料理研究家）

理事 東 宏一郎（慶應義塾大学スポーツ医学総合センター）

監事

岡 伸浩（岡綜合法律事務所）

アドバイザー（五十音順）

渥美 義仁先生（東京都済生会中央病院顧問・永寿病院糖尿病センター長）

大山 栄三シェフ（マルメゾン）

河田 勝彦シェフ（オーボンビュータン）

志賀 勝栄シェフ（シニフィアン・シニフィエ）

土本 寛二先生（北里大学北里研究所病院院長）

沼尻 寿夫シェフ（ウェスティンホテル）

山田医師 プロフィール

第一線の糖尿病専門医の立場から、
糖尿病治療・ダイエットの新たな選択肢として
“ゆるい糖質制限”を勧めている。

信頼度の高い最新研究から、
美味しい食事を楽しみつつ、生活習慣病や
肥満を予防することにアプローチしている。

1994年：慶応大学医学部卒業

東京都済生会中央病院

東京都国保南多摩病院などを経て

2002年：北里大学北里研究所病院就職

2007年：北里大学北里研究所病院糖尿病センター長

2013年：「食・楽・健康協会」設立

医学博士

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医

日本糖尿病学会専門医・研修指導医

日本医師会認定産業医